

YASUDA KIKUTAKE Architecture Matsue Map

松江の
現代建築探訪



Architecture Story



世界の菊竹は松江から

菊竹は自邸「スカイハウス」をはじめ、全国各地で設計活動を展開しています。中でも松江は多くの建物の設計を行った特別な場所でありました。松江での最初の仕事は1958年に完成した島根県立博物館でした。県立博物館の設計にあたって、後の県知事第23代田部長右衛門に出会った菊竹は、田部からの自然採光、自然通風の博物館という要求に見事に答え、さらに松江城を意識した色彩計画など松江ならではの建築を表現してみせます。県立博物館の設計で田部に認められた菊竹は、後に県知事となった田部から県立図書館、県立武道館の設計者として指名され、県庁周辺の施設整備にも関わることとなります。その後も田部が創設した田部美術館や、晩年の県立美術館まで松江での活動は続いていきます。松江での活動で評価を得た菊竹は、出雲市や米子市、萩市、境港市など山陰各地でも設計活動を展開し、世界的建築家となっていきます。

「あの建築(県立博物館)がなければ

菊竹さんは世界の建築家にな
っていただけたと思いますよ。」



撮影:高橋葉生

遠藤勝勲(元菊竹清訓建築設計事務所副所長)
2019年10月1日インタビュー
植野石膏模型製作所にて

YASUDA KATASHI

Profile

やす だ かつし
安田 臣

(1911-1977)

島根県邑智郡邑南町(旧日貫村)出身
安田臣建築設計事務所



安田臣は、島根県石見町日貫(現邑南町)出身の建築家で、戦後、建設省で営繕技官を務めました。営繕局在籍時に島根県庁舎、九州地方建設局在籍時に大分県庁舎を手掛け、いずれも日本建築学会賞を受賞するなど高い評価を受けています。建設省在籍時に開催された国立国会図書館コンペ(1954年)の際には、著作権を軽視した応募規定に抗議し、建設省の管理職でありながら、民間の建築家などと共に主催者の国に対して意見書を提出するなど、豪快な一面を持つ人物でした。安田は建設省退官後に安田臣建築設計事務所を設立して建築設計活動を続け、島根県民会館をはじめ、匹見タウンホール(現益田市役所匹見総合支所)や各地の山村開発センターなど多くの作品を残しています。現在も邑南町日貫の地には、安田の生まれ育った生家が存在し、改修工事を経て多くの方に愛されています。

第23代田部長右衛門(1906-1979)は、島根県雲南市(旧吉田村)の山林大地主の23代目当主で衆議院議員や島根県知事を務めた人物です。島根の茶道文化の振興に生涯をかけて取り組み、島根県立博物館の建設に尽力します。県立博物館の設計者を探すなか、親交のあったブリヂストンタイヤ創業者の石橋正二郎の案内で菊竹清訓が



第23代田部長右衛門

菊竹と山陰を結んだ人

Architecture Story



設計した久留米の石橋美術館を視察し、自然採光、自然通風の美術館に感銘を受け、菊竹清訓に県立博物館の設計を依頼します。田部は県立博物館の建設とほぼ同時期に島根県知事に就任し、「県庁周辺整備計画」を策定し県庁周辺の一体整備を進めています。当時はまだ若く、無名であった菊竹の才能を見出し、山陰との縁を結んだ立役者ともいえる人物でありました。

KIKUTAKE KIYONORI

Profile

きく たけ きよ のり
菊竹 清訓

(1928-2011)

福岡県久留米市出身
菊竹清訓建築設計事務所



撮影:石黒唯嗣

菊竹清訓は1928年に福岡県久留米市に生まれました。1947年に早稲田大学理工学部建築学科に入学し、在学中から様々な設計競技に応募し入賞しています。大学卒業後、竹中工務店、村野・森建築設計事務所を経て1953年に25歳の若さで独立し、菊竹建築研究所を開設します。1960年には同世代の建築家らとともに「メタボリズム」(生物学用語で「新陳代謝」の意)と呼ばれるグループを結成し、都市や社会の変化に応じて更新・成長することが可能な建築や都市計画を次々と発表し、世界的な注目を集めました。また、自らの設計過程を理論化した、設計仮説「か・かた・かたち」を発表したことで知られ、人並み外れた情熱で設計活動を展開していきます。山陰においても島根県立博物館を皮切りに多くの建物を設計し、代表作として出雲大社庁舎(出雲市 現存せず)やホテル東光園(米子市)などがあります。

Architecture Story



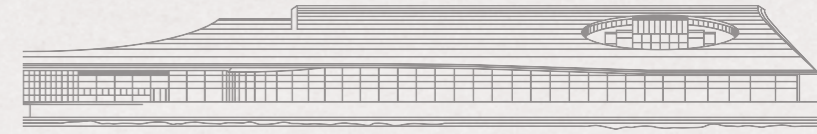
郷土性を表現した建築家

～安田臣～

島根県出身の安田は県庁舎の設計に際して「郷土性の表現」をテーマとしました。正面ピロティには大芦石(松江市)、玄関ホールには大根島石(松江市)や福光石(大田市)、議事堂玄関ホールには荒島石(安来市)など、県内各地でとれる材料がふんだんに使用されています。さらに最上階の外壁や屋外の吸気塔には、瓦で有名な石見焼(江津市)でタイルを制作するなど新しい材料にも挑戦しています。また、玄関ホールには布志名焼(松江市)の作品が飾られ、島根を代表するアート作品として空間を彩っています。加えて、外観の特徴的な白い庇や、柱と柱の間に目一杯とられた大きな窓は、雨が多く、日照時間の短い島根の気候風土を考慮して、明るく、快適な執務空間となるよう意図されたものです。県民会館でも、隠岐クロマツの化粧合板を使用するなど、常に郷土への愛を建物に表現し続けた建築家でした。



当時の玄関ホール



松江の
現代建築
探訪

見学
注意点

- ・建物内部の写真撮影については施設管理者の指示に従ってください。
- ・一般の利用者に迷惑が掛からないように配慮してください。

島根県

島根県総務部管財課
〒690-8501 島根県松江市殿町1
TEL:0852-22-5111(代表) FAX:0852-22-6037

発行者:島根県 発行年:2021年11月
執筆:井上翔太(島根県総務部管財課)
表紙撮影:高橋葉生

「松江の現代建築探訪」は、企画展「菊竹清訓 山陰と建築」(会期:2021年1月22日～3月22日、会場:島根県立美術館)にて作成・配布した「松江の菊竹建築探訪」(発行:島根県立美術館)を一部再編集したものです。



島根県庁周辺の景観

Architecture Story



島根県庁周辺整備計画

文化財となった建築群

島根県庁周辺の施設整備は、当時の島根県知事第23代田部長右衛門が中心となって策定した「島根県庁周辺整備計画」によって進められました。1958年に完成した県立博物館を足掛かりに県庁舎、県民会館、県立図書館、県立武道館が計画的に建設され、現在の県庁周辺の一体的な景観を形成しています。また、県庁周辺整備計画には、建物だけでなく橋北地域と橋南地域を結ぶ宍道湖大橋も位置付けられていました。この一連の県庁周辺整備計画は1970年に日本の建築界で最も権威のある日本建築学会賞(業績賞)を受賞しています。さらに2019年に県庁舎・議事堂、旧県立博物館本館が、2021年に旧県立博物館新館、県民会館、県立図書館、県立武道館が国の「有形文化財建造物」に登録され、県庁周辺整備計画に基づき整備された主要な建物すべてが文化財として認められました。

Y1 YASUDA Architecture 設計 安田 臣

島根県民会館

松江市殿町158
建設年:昭和43年(1968年) / 構造等:鉄筋コンクリート造地上4階、地下1階建、塔屋付

県庁舎を設計した安田が建設省を退官し、独立後に設計した建物で、向かい合わせに建つ県庁舎に合わせてコンクリート打放し仕上げの列柱を外観にあらわし、一体的な景観を生み出している。石見焼のタイルや隠岐クロマツの化粧合板など県内産の材料が積極的に使用されていることも県庁舎と同じ特徴である。大ホールには浜田市出身の画家、石本正がデザインした緞帳が掲げられ、来館者の目を楽しませている。



撮影:SATOH PHOTO

Y2 YASUDA Architecture 設計 安田 臣

島根県庁舎

松江市殿町1
建設年:昭和34年(1959年) / 構造等:鉄筋コンクリート造地上6階、地下2階建、塔屋付

松江城三の丸跡地に建つ五代目の庁舎で、設計は島根県出身の安田臣が担当した。建物は敷地の一番奥に配置され、市街地から城山への眺望を妨げないように計画されている。さらに建物の高さを城山と同じ高さに抑えることで、松江城から宍道湖への眺めを遮らないように配慮されている。建物の仕上げには、大芦石や石見焼タイルなど島根県産の材料がいたるところで使用され、「オール島根」の庁舎が県民を迎えている。



撮影:SATOH PHOTO

K1 KIKUTAKE Architecture 設計 菊竹清訓

旧島根県立博物館 (島根県庁第3分庁舎)

松江市殿町1
建設年:昭和33年(1958年) / 構造等:鉄筋コンクリート造3階建

菊竹が島根県において初めて完成させた作品。水害の多い松江の風土に対応するため、展示室を3階に持ち上げ、大切な作品を水害から守る工夫がなされている。また自然採光、自然通風を実現するためルーバーウォールと呼ばれる回転式の縦格子を自ら考案している。現在は博物館としての役割を終え、耐震改修を経て県庁第3分庁舎として使用されている。

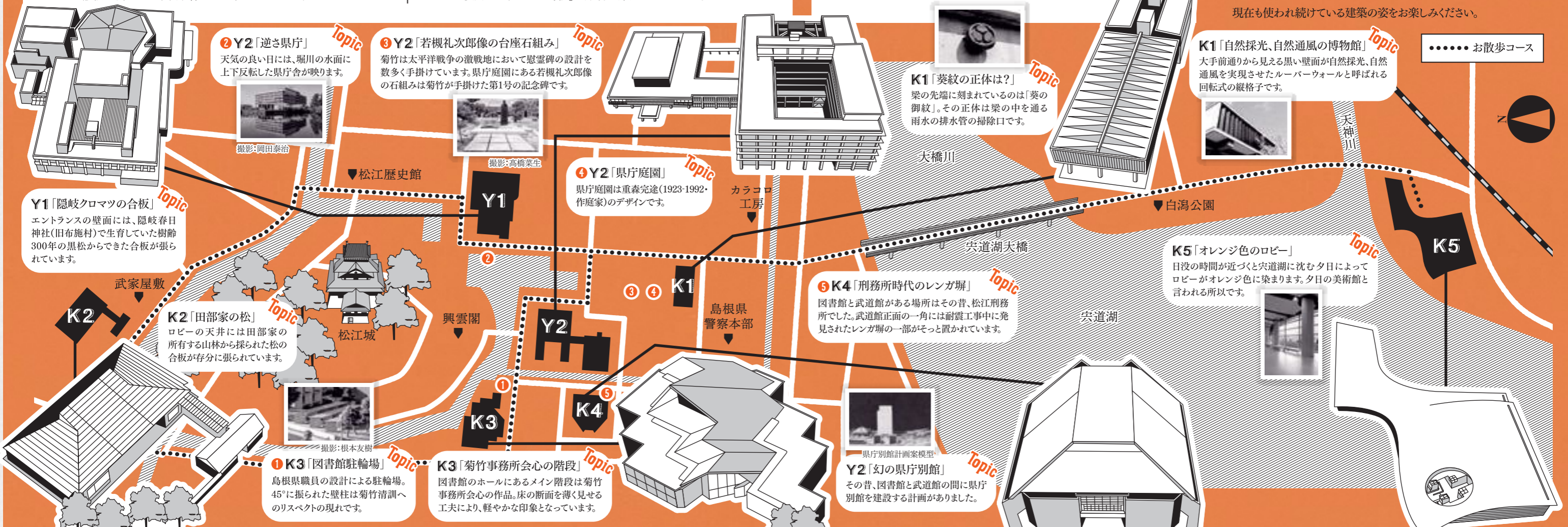


撮影:高橋 菜生

Architecture Matsue Map

安田・菊竹建築お散歩マップ ～松江城周辺から県立美術館まで～

県民にとって日常の風景となっている松江城周辺の建物群は島根県邑南町出身の建築家、安田臣と日本を代表する建築家、菊竹清訓によって手掛けられました。同じ早稲田大学の卒業生であった安田と菊竹は、お互いの存在を意識しながら、あうんの呼吸で設計を進め一体感のある建築を作っていました。松江の風土に根付き、現在も使われ続けている建築の姿をお楽しみください。



② Y2「逆さ県庁」
Topic
天気の良い日には、堀川の水面に上下反転した県庁舎が映ります。



撮影:岡田 泰治

③ Y2「若槻礼次郎像の台座石組み」
Topic
菊竹は太平洋戦争の激戦地において慰霊碑の設計を数多く手掛けています。県庁庭園にある若槻礼次郎像の石組みは菊竹が手掛けた第1号の記念碑です。

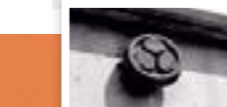


撮影:高橋 菜生

④ Y2「県庁庭園」
Topic
県庁庭園は重森完途(1923-1992・作庭家)のデザインです。



撮影:高橋 菜生



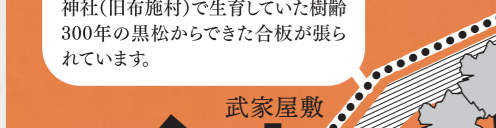
K1「葵紋の正体は？」
Topic
梁の先端に刻まれているのは「葵の御紋」。その正体は梁の中を通る雨水の排水管の掃除口です。

K1「自然採光、自然通風の博物館」
Topic
大手前通りから見える黒い壁面が自然採光、自然通風を実現させたルーバーウォールと呼ばれる回転式の縦格子です。



撮影:高橋 菜生

Y1「隠岐クロマツの合板」
Topic
エントランスの壁面には、隠岐春日神社(旧布施村)で生育していた樹齢300年の黒松からきた合板が張られています。



撮影:岡田 泰治

K2「田部家の松」
Topic
ロビーの天井には田部家の所有する山林から採られた松の合板が存分に張られています。



撮影:根本 友樹

① K3「図書館駐輪場」
Topic
島根県職員の設計による駐輪場。45°に振られた壁柱は菊竹清訓へのリスペクトの現れです。



撮影:根本 友樹

K3「菊竹事務所会心の階段」
Topic
図書館のホールにあるメイン階段は菊竹事務所会心の作品。床の断面を薄く見せる工夫により、軽やかな印象となっています。



撮影:根本 友樹

K2 KIKUTAKE Architecture 設計 菊竹清訓

田部美術館

松江市北堀町310-5
建設年:昭和54年(1979年) / 構造等:鉄筋コンクリート造2階建

松江城の北側、塩見縄手の一角に建つ第23代田部長右衛門が創設した私設美術館。コルテン鋼で葺かれた屋根は、島根の伝統「たたら製鉄」をイメージしたもので、伝統との調和を図りながらも新しい技術へ挑戦する菊竹の精神を感じることができる。さらに内部空間は和風で落ち着きを感じさせながらも、吹抜けのロビーや軽やかなスロープなど現代的な空間構成へもチャレンジしている。



撮影:根本 友樹

K3 KIKUTAKE Architecture 設計 菊竹清訓

島根県立図書館

松江市内中原町52
建設年:昭和43年(1968年) / 構造等:鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造

L型の閲覧室が吹抜けのホールを囲むように配置された図書館。菊竹は県立図書館のL型の閲覧室を並べる空間構成を「図書館のかた」と説明している。建物に入ると、ダイナミックな鉄骨梁や薄く軽やかな印象のメイン階段が来館者を迎え、夕方には高窓から注ぐ夕日が空間を演出する。外観は堀川に沿ってジグザグに雁行し、45°に振られた壁柱は、閲覧室から城山への眺望を遮らないように配慮されたものである。



撮影:根本 友樹

K4 KIKUTAKE Architecture 設計 菊竹清訓

島根県立武道館

松江市内中原町52
建設年:昭和45年(1970年) / 構造等:鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造

昭和45年の大阪万博の年に完成した武道館。2年前に完成した県立図書館と向かいあって建ち、2階の構造を支える45°に振られた壁柱は共通するデザインとなっている。玄関に入って正面に見える豪快な書は当時の島根県知事第23代田部長右衛門が揮毫したものである。武道館のすぐ横に建つ相撲場や、西側に建っていた弓道場も菊竹が設計したもので、現在、弓道場は松江市学園に移築され、使われ続けている。



撮影:根本 友樹

K5 KIKUTAKE Architecture 設計 菊竹清訓

島根県立美術館

松江市袖師町1-5
建設年:平成10年(1998年) / 構造等:鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 一部鉄骨造

戦後高度成長期に山陰で多くの建物を設計した菊竹が、晩年に完成させた美術館。設計にあたっては宍道湖の存在が常に意識され、その造形は湖に沿って連続する洲浜のようである。建物の高さは背後の山並みを遮らないように低く抑えられており、対岸からは銀色に輝くチタン製の大屋根を眺めることができる。日没前には宍道湖に沈む夕日がロビーに差し込み、幻想的な空間を演出する。



撮影:根本 友樹